

モニターレポート(12月報告)

【報告内容①】

悪天あとの川の様子

左岸4km付近から、悪天後に川面を見たら、えらく濁っていました。多分、川底にたくさんのドロがあり舞い上がるのでしょう。

〈事務所からのコメント〉

悪天のあと、川が濁っていたとのご報告がありました。水害で上流から沢山の土砂が流れてきて、川底に堆積しました。一部は島のように川の水面より高く堆積したところもあります。雨が降ると川が濁るのは様々な理由がありますが、堆積した土砂もその一因かも知れません。

【報告内容②】

阿賀野川床固め公園について

道路の直ぐ下の草むらに赤いビニール袋やペットボトルが散在していました。本日はゴミ袋を用意して来ませんでした。次回は持参します。

石階段に缶コーヒーが捨てられていました。それは拾いました。比較的ゴミの少ない公園ですが、定期的に見回る必要があります。

〈事務所からのコメント〉

いつも堤防付近のゴミを拾っていただいているようで、大変感謝申し上げます。ゴミを捨てていく人もいれば、捨てたゴミを丁寧に回収して下さる人もおられます。ゴミを捨てていく人のモラルが向上するようと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

横雲橋から阿賀浦橋周辺について

冬空から時折まぶしいくらいの太陽が川面を照らします。いつもは鉛色の川という印象ですが、太陽の光でエメラルドグリーンやコバルトブルーのように見えます。冬の阿賀野川でこんなにきれいな色の川面を見たのははじめてかもしれません。感動のひとつでした。

〈事務所からのコメント〉

冬は鉛色の阿賀野川の水面が、太陽光によって感動的な色彩を放つ阿賀野川の美しい瞬間を写真に収めて、阿賀野川写真コンテストに応募してみたいかがでしょうか。

今年度で第19回目を迎えた「阿賀野川写真コンテスト」は、「阿賀野川」を題材とした写真、阿賀野川や河川敷を対象に、川と人、イベント、催事、自然等をとらえたものをテーマとして部門別(フィルム部門、デジタル部門)に作品を募集しています。

主催は阿賀野川治水協会、阿賀野川河川事務所も協力しています。

【報告内容④】

12月5日(月)

阿賀野川沿いの道から早出川(下条大橋)の道沿いの道の境目を示す反射ポールに赤と黄色のポールが立てられている事に気がついた。今後の除雪の目印になるように立てられているものだと思うが、本格的な冬が来る事が分かる。きっと去年も立てられていたのですが、あまり気に止まらなかったが、観測していると色々と気がつくことが多いです。

〈事務所からのコメント〉

新潟市江南区沢海地先(阿賀野川左岸)から五泉市下条(早出川左岸)の間の堤防天端は、道路管理者(新潟市、新潟県)が、毎年11月末頃になるとデリネータポールの上から赤と黄色のツートンカラーのポールを継ぎ足す作業を行います。ご報告のとおり、除雪車の目印になるものです。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容⑤】

有形文化財について

国の文化審議会は、五泉市蛭野の慈光寺など県内13件の建造物を国の登録有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学相へ答申した。

慈光寺は、室町時代初期の応永10年(1403)ごろ始まったとされる曹洞宗の寺院。

江戸時代に建てられた本堂や庫裏、三門など7件が国土の歴史的景観に寄与しているとして評価された。正式決定は今年度中に認可の予定です。

〈事務所からのコメント〉

五泉市郊外にある慈光寺といえば、約500mに渡って樹齢300年から500年余の古木が立ち並ぶ参道の杉並木が有名ですね。県の天然記念物にも指定されているそうです。また、慈光寺のある蛭野地区は、銀杏の産地としても有名で、黄葉の時期には辺り一面がこがね色に染まることから「黄金の里」とも呼ばれているそうです。阿賀野川の沿川には、まだまだ貴重な文化財が沢山あるかも知れませんね。

※複数のモニター報告を要約してあります。